

平成23年度 国保野上厚生総合病院改革プラン点検・評価について

1. 総論

収益部門の前年度に対する伸び率が1.9%、費用部門の伸び率は0.6%となった。経常損益は前年度比29%弱の回復ではあるが当初策定プランの達成とはならなかった。今後もこの改革プランを着実に実行していくため、費用の削減・収入の改善に努めより一層努力していくことが重要である。

2. 改革プラン進捗状況

国保野上厚生総合病院改革プラン平成23年度実績調書

市町村等名 海南市・紀美野町

病院事業会計名 国民健康保険野上厚生病院組合事業会計

(単位:百万円、%)

| 項目 | 平成20年度策定 改革プラン値(X) | 平成23年度実績(Y) | 平成23年度実績が計画未達成の場合はその理由 | |
|------------------------------|-----------------------|-------------|---|---------------------------|
| 医業収益 | 2449 | 2527 | | |
| 経常収益A | 2948 | 3067 | | |
| 医業費用 | 2812 | 2851 | 看護スタッフ増員(産・育休の欠員補充)及び精神科病棟減価償却費増の為 | |
| うち職員給与費 | 1432 | 1539 | 看護スタッフ増員(産・育休の欠員補充)の為 | |
| うち材料費 | 680 | 638 | | |
| うち減価償却費 | 158 | 186 | 22年度完了の精神科病棟工事分の見込額が過小であった為 | |
| 経常費用B | 2983 | 3158 | 看護スタッフ増員及び精神科病棟減価償却費増の為 | |
| 経常損益(A-B) | -35 | -91 | 看護スタッフ増員による給与増の見込みが過小であった。収益は計画値及び前年度よりは良くなっているが、費用に見合う増ではなかった。 | |
| 単年度資金収支額 | 2 | 36 | 収益は計画値より良くなっているが、費用に見合う増ではなかった。 | |
| 地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額 | 0 | 0 | | |
| 地財法による資金不足比率 | 0 | 0 | | |
| 経常収支比率 | 98.8 | 97.2 | 入院病床利用率が伸びなかった 医療スタッフ増員による費用増 | |
| 職員給与費比率 | 58.5 | 54.0 | | |
| 病床利用率 | 69 | 69 | | |
| 一般会計からの繰入金 | 収益的収支 | () 325 | () 431 | |
| | 資本的収支 | () 103 | () 42 | 建設改良費の自己資金分が予定よりも少なくなったため |
| | 合計 | () 428 | () 473 | |

評価結果 : ①費用については、計画からの乖離があるため今後も一層の経営改善が必要。

②再編ネットワーク化については管内診療所等と診療情報の共有化を更に進めていきたい。